

令和2年度 福井農林高等学校 学校経営方針

目指す学校像	① 魅力ある農業教育の実践を通して将来の担い手育成のための基礎・基本を習得できる学校 ② 地域社会や関係機関と連携し、地域産業の発展に貢献できる人材を育成する学校 ③ 地域に根ざした教育活動及び生徒一人ひとりを伸ばす教育を実践し、地域や保護者から信頼される学校 ④ 地域農業の課題解決や活性化に貢献できる学校
目指す生徒像	① 礼儀正しく、規則を守り、思いやりのある心豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる生徒 ② 将来への夢を描き、目標を設定し、目標達成のために努力し、進路実現できる生徒

目指す学校像を実現するための基本方針	具体的な取り組み
1 確かな学力を育む  基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するための思考力、判断力、表現力などを身に付けさせ、主体的に学習に取り組む態度を育成する。	① 「聞く力」「考える力」「伝える力」を育成するための授業改善 ② 各種資格検定取得の推進 ③ 課題を見つけ探究し、解決する力を育成するための「プロジェクト学習」の充実 ・スマート農業化、6次産業化、持続可能な農業環境の創出など、地域農業の課題解決を目指した地域貢献型プロジェクト学習を行う。→高糖度トマト栽培自動灌水システムの構築、高糖度トマトのブランド化、商品開発、クローバー緑肥栽培による特別栽培米生産、SDGs、インバウンドへの対応など。 ・学科・教科の枠を超えたチーム編成により、諸課題にフレキシブルに対応できるための教育課程の検討。 <b>【目標】</b> 福井フューチャーマイスター「ゴールド」取得70%以上 農業クラブ大会、各種コンテストへの積極的参加、入賞
2 キャリア教育の推進  豊かな勤労観や職業観を身に付けさせ、将来の夢や目標を形作り、進路を自ら選択・決定する力を育むとともに、農林業の担い手や関連産業で活躍できる人材を育成する。	① 3年間を見据えた進路指導と組織的な指導体制の充実 ・進路意識の早期醸成と明確化を促し、ワンランク上を目指す向上心を育てる。 ・進学希望者には、進路指導部が主体的に、学年会、学科、教科と連携し、小論文、AO対策など個に応じた進学指導体制を確立する。 ② 地元企業等でのインターンシップ（長期・短期） ③ 県農林水産部・福井市役所等との連携 ・県農業試験場、先進農家等での体験実習など、就農意識向上のための取り組みを行う。 ④ 大学との連携 ・福井県立大学等と連携した取り組みを行い、国公立大学進学を意識向上を図る。 <b>【目標】</b> 学科の学習を活かした企業等への就職率60%以上 農林業後継者、JA等への就職5名以上 農業系大学への進学5名以上（公務員・農業教員の育成）
3 豊かな人間性を育む  生命と人権、自然と環境を大切にできる態度を育むとともに、自らを律することができる規律・規範を身に付けさせ、心身の健やかな成長を支援する。	① 「挨拶励行」・「時間厳守」・「整理整頓」の徹底 ② 基本的な生活習慣の確立及び規範意識・マナーの育成 ・全教職員が一丸となって、欠席・遅刻・頭髪・服装・ピアス・授業規律・携帯電話モラルなどに対する指導を徹底する。 ・保護者との連携を密にし、より良い生活習慣及び規範意識を身に付けさせる。 ③ 学校行事、生徒会活動、HR活動等において、生徒間のコミュニケーション能力や人間関係調整能力の育成 ④ 部活動に積極的に取り組ませ、体力の向上を図るとともに、逞しい精神力や他と協調していく力の育成 ⑤ 教育相談、いじめ防止体制の確立 ・通級指導体制を充実する。 ・いじめ対策委員会を中心に、いじめの発生・深刻化を防ぎ、いじめを許さない生徒の意識を醸成する。
4 開かれた学校づくり  地域と連携した広がりのある教育の構築により、学校の有する知識・技術や生徒の活動成果等を地域に還元する。	① 体験講座の実施 ・料理教室、草花寄せ植えなどの講座の実施 ② 農業の知識・技術力を活かしたボランティア活動。 ・外来雑草の駆除、花壇の整備、越前水仙の管理、GAPアドバイス、耕作放棄地対策など。 ③ 地域企業等と連携した取り組み ・企業と連携したSDGsの取り組み、クボタと協働した簡易自動灌水システムの構築及び高糖度トマト・金福スイカ栽培マニュアルの作成、希少動植物（在来品種）の保存など。